

施工要領

下地処理



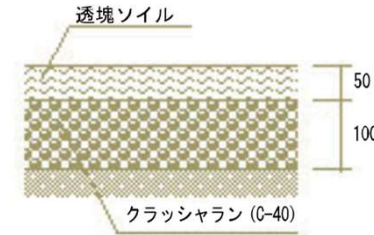
雑草や障害物を取り除き、コンパクター等で転圧し施工場所の整正をして下さい。

軟弱な路盤の場合は、碎石を10cm～20cm程度入れて下さい。
植樹まわりで敷設する時は、タコや板等を用い軽く転圧して下さい。
(この場合は碎石路盤を作る必要はありません。)

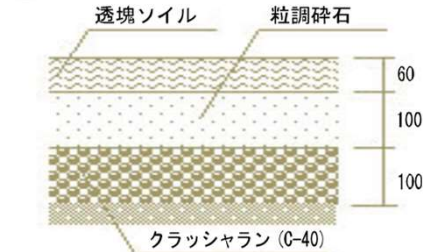
■40mm



■50mm



■60mm



敷き均し



透塊ソイルを均一に敷き均し、コテやレーキ等で均します。厚さ確保のため、複数の箇所で実際の厚さを測定してください。特に、抜き板周りやブロックなどに接する端部は材料が疎になるので、へらなどで鋤き込んだり転圧するなどの作業を行ってください。防草や浮き上がりの対策にも有効な方法です。

散水



霧状のもので水たまりができないよう、ゆっくりとまんべんなく水をかけて下さい。(平地1㎡あたり150～200)

※散水時に水たまりができると、後日白華して景観を損ないます。
(強度には影響ありません)

約2時間後、表面が固化します。手で固化状態を確認し、シャワーでたっぷり散水して下さい。

水が浮く、沈むを4回位繰り返し、最後に棒で水が中まで浸透しているか確認して完了です。

※冬季(気温が5℃以下になる)施工の場合

水に対して「防凍剤」5%～8%混合してください。

例)水500ℓで1.5缶～2缶

完成



固まるまで数日間かかります。完全に固まるまでは重い物を載せたり、先の尖った物で突いたりしないようにして下さい。
(冬季の低温時、夏季の乾燥時には十分な養生を行ってください)
表面が固化したら、噴霧器でソイルの表面に「表面強化剤」を噴霧してください。表面はさらに固化します。

※夏季は約1日、冬季は約2日程で表面が固化します。
固化後「表面強化剤」を(100㎡あたり1.5缶～2缶、1回のみ)噴霧してください。